厚生労働省　令和８年度　こころの健康づくり対策事業
児童・思春期精神保健対策
医療従事者専門研修応用コース　実施要項

1. 目的

医療従事者研修をすでに受講した者に対してケース検討を含んだ専門性の高いプログラムを提供し、臨床力を高めることを目指しています。

2. 参加要件

・受講申込時に職場の上司の推薦を得られること。
・研修受講者名簿（氏名、所属先、所属連絡先）の作成・配布に同意できること。
【同意書・推薦書】に署名捺印し PDF または JPG でフォームからアップロードが必須です。
（ご自身が職場長の場合、推薦書の欄もご自身が記入し、署名捺印）
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県、政令指定都市、中核都市、保健所設置都市、特別区の関係機関に送付します。

3. 対象者

精神科医、小児科医、初期研修医、看護師、公認心理師・臨床心理士、精神保健福祉士・社会福祉士、作業療法士、保健師などであり、応用コースの受講未経験者に限る。
- 事例検討会がありますので、守秘義務の遵守が出来る方に限ります。

4. 日時・場所・定員

【西日本開催】オンデマンド講義　令和８年６月 29 日(月)～7 月 12 日(日)　（必修）
事例検討会　令和８年７月 19 日（日）　10:00～16:10　対面形式
場所：愛媛県東温市志津川　愛媛大学重信キャンパス
【東日本開催①、②】オンデマンド講義　令和８年９月 28 日(月)～10 月 12 日(月)（必修）
東日本①事例検討会　令和８年 12 月 23 日（水）10:00～16:10　対面形式
東日本②事例検討会　令和９年１月 20 日（水）10:00～16:10　対面形式
場所：東日本①東日本②共に
国立国府台医療センター　肝炎・免疫研究センター研修室
千葉県市川市国府台 1-7-1
定員：各回　４０名　（複数会場の申込不可）

5．受講料　　無料

6. 研修内容　　プログラム参照

7. 申込締め切り　令和８年５月 29 日（金）

8.申し込み方法　QR コード又は URL の申し込みフォームから参加登録をお願いします。　　URL: https://forms.cloud.microsoft/r/H3yxM5Xtv2

9. 受講可否、研修会についての連絡方法

・受講の可否は、ご登録のメールに事務局（kcap36kenshu@jihs.go.jp）からご連絡いたします。
・応募の際のメールアドレスには、共用アドレスを使用しないようにお願いいたします。
・応募者多数の場合、厳選なる抽選にて受講者を決定いたします。
事務局 kcap36kenshu@jihs.go.jp の受信設定をしてお待ちください。

10.その他

・オンデマンド形式（millvi を利用）は受信機器、ネット環境のご用意をお願いします。
・事例検討では、昼食・宿泊の用意・案内はございません。各自でご準備をお願い致します。
・事例検討会会場へは公共交通機関をご利用ください。
・すべて欠席なく受講された方には修了証書を授与します。受講確認が取れない場合は修了証書の授与ができませんのでご注意下さい。

児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修応用コース
研修名簿作成・配布同意書及び受講推薦書

令和　　年　　月　　日

受講するにあたり名簿作成・配布に同意します。☐

受講者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

受　講　推　薦　書

上記の者を貴院の厚生労働省 令和８年度こころの健康づくり対策事業「児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修応用コース」受講生として推薦いたします。また研修会で症例を発表する際には、当施設での個人情報保護の規定に沿って行うことを約束します。

令和　　年　　月　　日

施設名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者（所属長）氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

国立健康危機管理研究機構
国立国府台医療センター　院長　殿

児童・思春期精神保健研修
『児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修応用コース』

オンデマンド講義（令和8年6月29日～7月12日）				
応-1	60分	八木 淳子	岩手医科大学附属病院 児童精神科 いわてこどもケアセンター	逆境体験がこどもの発達に 及ぼす影響と回復への支援
応-2	60分	中村 伸一	中村心理療法研究室	家族療法の理論と実際
応-3	60分	岩垂 喜貴	駒木野病院	入院治療について
応-4	60分	大重 耕三	岡山県 精神科医療センター	多職種による地域連携
応-5	60分	栢原 明子	三重県立子ども心身発達 医療センター	「専門病棟での児童精神科看護の業務 ー行動制限最小化を目指してー」
応-6	60分	板垣 琴瑛	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 公認心理師の取り組み
応-7	60分	山本 啓太	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 精神保健福祉士の取り組み

事例検討会『西日本開催』　令和8年7月19日（日）（10：00～16：10） 愛媛大学医学府附属病院　重信キャンパス				
	10:00～ 10:10	主催者挨拶		
1時限	10:10～ 12:40	堀内 史枝 宇佐美 政英	愛媛大学 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討①(グループ討議)
	12:40～ 13:30			
2時限	13:30～ 16:00	堀内 史枝 水本 有紀	愛媛大学 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討②(グループ討議)
	16:00～ 16:10	修了式		

オンデマンド講義は各60分。集会型で架空症例検討を通じ、多角的な視点で子どもを評価し、治療戦略を立ててディスカッションを行う。

児童・思春期精神保健研修

『児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修応用コース』

オンデマンド講義（令和8年9月28日～10月12日）				
応-1	60分	八木 淳子	岩手医科大学附属病院 児童精神科 いわてこどもケアセンター	逆境体験がこどもの発達に 及ぼす影響と回復への支援
応-2	60分	中村 伸一	中村心理療法研究室	家族療法の理論と実際
応-3	60分	岩垂 喜貴	駒木野病院	入院治療について
応-4	60分	大重 耕三	岡山県 精神科医療センター	多職種による地域連携
応-5	60分	栢原 明子	三重県立子ども心身発達 医療センター	「専門病棟での児童精神科看護の業務 ー行動制限最小化を目指してー」
応-6	60分	板垣 琴瑛	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 公認心理師の取り組み
応-7	60分	山本 啓太	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 精神保健福祉士の取り組み

事例検討会『東日本開催①』　令和8年12月23日（水）（10：00～16：10） 国立国府台医療センター　肝炎・免疫研究センター研修室				
	10:00～ 10:10	主催者挨拶		
1時限	10:10～ 12:40	齊藤 万比古 宇佐美 政英	駒木野病院 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討①(グループ討議)
	12:40～ 13:30	昼休み		
2時限	13:30～ 16:00	齊藤 万比古 水本 有紀	駒木野病院 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討②(グループ討議)
	16:00～ 16:10	修了式		

オンデマンド講義は各60分。集会型で架空症例検討を通じ、多角的な視点で子どもを評価し、治療戦略を立ててディスカッションを行う。

児童・思春期精神保健研修

『児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修応用コース』

オンデマンド講義（令和8年9月28日～10月12日）				
応-1	60分	八木 淳子	岩手医科大学附属病院 児童精神科 いわてこどもケアセンター	逆境体験がこどもの発達に 及ぼす影響と回復への支援
応-2	60分	中村 伸一	中村心理療法研究室	家族療法の理論と実際
応-3	60分	岩垂 喜貴	駒木野病院	入院治療について
応-4	60分	大重 耕三	岡山県 精神科医療センター	多職種による地域連携
応-5	60分	栢原 明子	三重県立子ども心身発達 医療センター	「専門病棟での児童精神科看護の業務 ー行動制限最小化を目指してー」
応-6	60分	板垣 琴瑛	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 公認心理師の取り組み
応-7	60分	山本 啓太	国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	国府台病院での 精神保健福祉士の取り組み

事例検討会『東日本開催②』　令和9年1月20日（水）（10：00～16：10） 国立国府台医療センター　肝炎・免疫研究センター研修室				
	10:00～ 10:10	主催者挨拶		
1時限	10:10～ 12:40	齊藤 万比古 水本 有紀	駒木野病院 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討①(グループ討議)
	12:40～ 13:30	昼休み		
2時限	13:30～ 16:00	齊藤 万比古 宇佐美 政英	駒木野病院 国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター	ケース検討②(グループ討議)
	16:00～ 16:10	修了式		

オンデマンド講義は各60分。集会型で架空症例検討を通じ、多角的な視点で子どもを評価し、治療戦略を立ててディスカッションを行う。